

前期基本計画 令和 6年度 施策方針書

政 策 : 04 様々な産業の活性化が繋がり広がるまち
 施 策 : 03 多様な連携による若者が活躍できる環境づくりと価値創造

所管課長等職・氏名 若者活躍推進室長 佐々木 敬志

1. 施策が目指すものを明らかにする

(1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

当市の強みとして、大学の立地に関連して大学生を中心とした若者が多い点が挙げられます。第1次滝沢市総合計画期間から、若者定住の推進・展開を図ってきましたが、社会環境や人々の価値観が激しく変化する中では、働き口や定住という視点はもちろんのこと、若者にとって「自分の望む生き方ができる環境」の重要性が増しています。そのような中で、当市の強みを生かしたまちづくりをさらに推進し、若者の交流や体験の機会を多く創出することにより、若者が自らの意思で活動し、チャレンジし続けることができる風土の醸成を目指します。

(2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標 1 活躍している若者が多いまちであると感じている人の割合 単 位 %	20.4	21.3	22.2	23.1	24	24	- 0.0	
	単 位								
	単 位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 4年度	令和 5年度 (見込)	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	4 年 後
1	19123 若者活躍の場づくり推進事業 移住定住・若者交流に係る取組件数 単 位 件	目標値 実績	0 0	3 0	3 -	4 -	5 -	6 -	6 -
2	20165 大学未来共創事業 大学・学生との連携件数 単 位 件	目標値 実績	0 0	4 0	4 -	5 -	6 -	7 -	7 -
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							

前期基本計画 令和 6年度 施策方針書

政 策：04 様々な産業の活性化が繋がり広がるまち

施 策：03 多様な連携による若者が活躍できる環境づくりと価値創造

所管課長等職・氏名 若者活躍推進室長 佐々木 敬志

2. 施策の実現に向けた現状を認識する

(1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

「活躍している若者が多いまちである」という指標は、令和3年度から取り始めたものとなりますが、「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と答えた市民の割合は20.4%（令和5年度）であり、まだ低い状態にあるといえます。

一方、若者がいないという悩みを抱える周辺自治体と比較すれば、恵まれた環境におかれており、また令和2年度から取り組んでいる「滝沢市学生応援プロジェクト」などが広く取り上げられたこともあり、若い世代が多いまちであるという認識は持たれはじめていますと考えます。

これらを踏まえ、新たに設けた本施策の展開を通じ、滝沢市における若者活躍の環境を創っていくことは引き続き重要と考えます。

(2) 施策に影響する社会環境の変化

新型コロナウイルス感染症の拡大が、若者世代の生活に与えた影響は非常に大きなものがあります。

特に「人とのつながり」が遮断されたことにより、若い世代は直接人と接する機会が減り、その分オンラインでの交流など、新たな手法を用いた生活が当たり前ようになっていきます。

これらの状況を踏まえ、新たな「人とのつながり」を通じた場の幸せを模索していく必要があります。

3. 施策の実現に向けた取組を決定する

(1) 施策が、令和6年度から令和9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

この施策では、滝沢市を「学生や若者がそれぞれ自分のやりたいことに取り組めるまち」にしていくための環境創りに取り組むものです。具体的には、以下の点について4年間取り組みます。

- ・学生を切り口に若者を応援する「学生応援プロジェクト」を継続して実施します。
- ・学生や若者の人材育成事業等地域や企業と連携した取組を推進します。
- ・若者の「自由な発想」により、若者自らが価値を生むための取組を支援します。

(2) この施策が令和6年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・学生との連携事業や移住定住事業など、これまで実施してきた若者活躍に関する事業を進めます。
- ・大学が立地する本市の特色を活かし、「学生と企業」、「学生と地域」がつながり、連携・交流する事業を進めます。
- ・若者との交流の機会を創出するとともに、取組を通じて滝沢市の若者の考え方や価値観、ニーズなどの把握に努めます。

